

シリーズ: 田中昌人初代所長の没後20年を
研究所の更なる進展とするために

その3 発達と実践をつなぐ

——「交流」の研究と田中昌人が求めようとしたもの——(仮)

講師

荒木美知子さん

(人間発達研究所会員)

日程

2025年3月29日(土) 10時~12時

コラボしが21 研修室

会場

(大津市打出浜2-1)

※録画配信をします。

録画視聴のみの参加も可能です。

参加費

一般 2,000円/会員 1,300円

25歳以下会員 500円※

※1998年4月2日以降生まれの会員

申し込み

研究所HPのリンクまたは、右のQRコードより→

※上記の方法が難しい場合は、お電話ください。



講師の荒木美知子さんの専門は教育学です。

学生時代から「交流」に興味をもって研究され、後に、田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」(階層-段階理論)に出会われます。

研究所の創立30周年記念誌『人間発達研究の創出と展開』(群青社、2016)では、70年代から80年代にかけて「階層-段階理論」の中で使われた「交流(交通)」について、由来と変遷をまとめてくださいました。

今回は、ご自身の「交流」の研究を紹介していただき、階層-段階理論の中で「交流(交通)」概念がもつ意味を考えます。

主催

お問い合わせ

人間発達研究所



077-524-9387



j-ih63su@j-ihd.com

メールはこちらから↓

